

保活ワンストッププロジェクト 官民連携の展望について

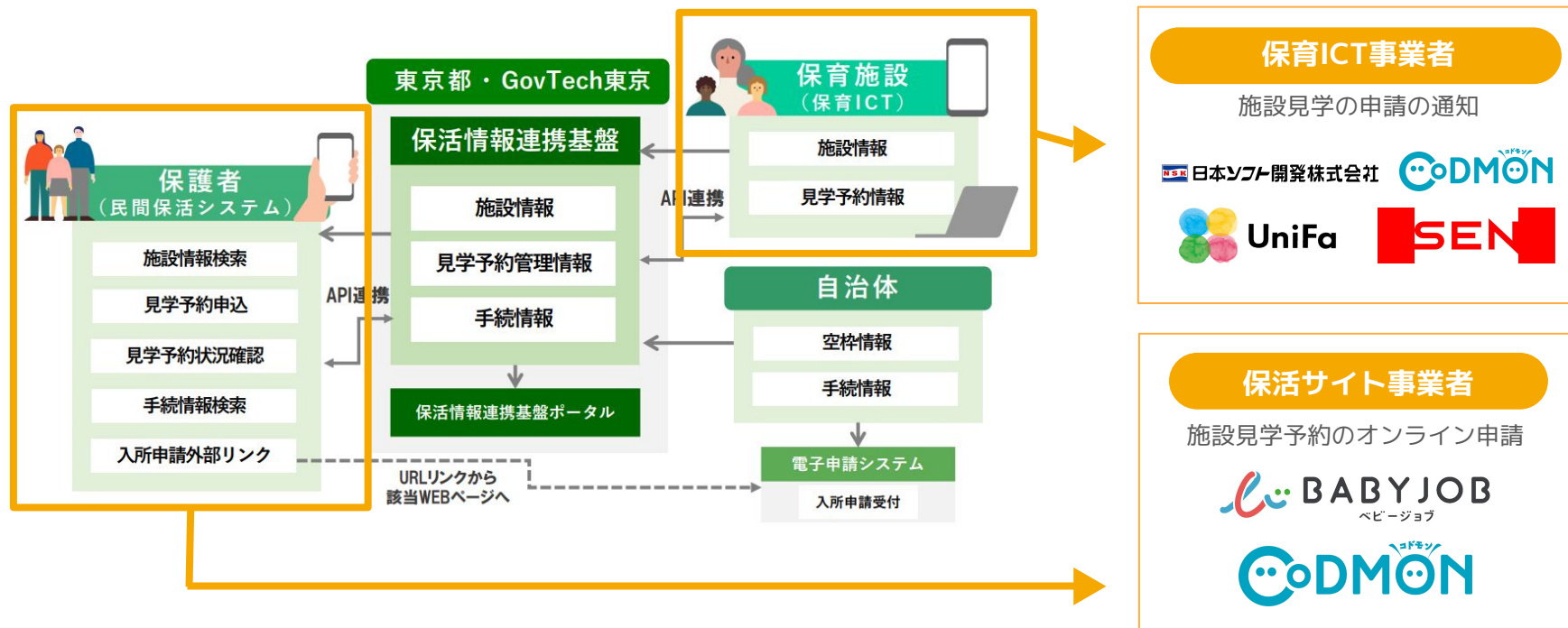


一般社団法人

こどもDX推進協会

官民連携でプロジェクトを推進

保護者・保育施設がアクセスするインターフェイス部分を民間が担当



官民それぞれの強みを集結

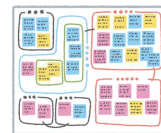
東京都は施設情報や連携基盤、情報の構造化などの**基盤整備**、
民間は、**ユーザーインターフェイス**を担当し使い勝手の良さを追求



保活
ワンストップ
プロジェクト

東京都

- 保育施設の施設情報の整理
- 園見学の申請管理のための連携基盤の構築
- 自治体ごとの保活手続き情報の構造化



保育ICT 事業者

- 保活情報連携基盤への導線を設置
- 保育施設が毎日使う管理画面上に見学申請情報を通知



民間保活 システム 事業者

- 保活の手続き情報の掲載
- 保護者向けの保育園検索・園見学申請ページを展開
- 申請状況が確認できる保護者向けのマイページの提供



参画した民間事業者の声

保活の負担という**社会課題の解消に貢献**することができた

事業者単独では難しいDXや業務の標準化について
国・東京都が**主導する施策に関わる**ことができた

同じ志を持った東京都、GovTech東京、他社とつながり
協働することができた

官民が連携・協働することで、**民間事業者だけでは解決しきれない
保活課題の解決**に向けた取り組みが推進

今後の全国展開を見据えた期待

1

保育施設の施設情報をはじめ、 オープンデータセットのさらなる整備

空き枠情報をはじめとする保育施設情報のさらなる充実・オープンデータセット化により、全国展開時に多くの民間企業が創意工夫を活かしたサービス提供につなげることが期待される

2

保活関連手続き全般のデジタル化

見学予約のみならず**申請・入所決定通知**、**こども誰でも通園制度**など、その他の手続きもデジタル化し、利便性を向上させていくことが期待される